

令和5年度「全国学力・学習状況調査」の結果 －分析から見てきた成果・課題と今後の取組について－

区 名	東淀川区
学 校 名	大阪市立啓発小学校
学校長名	古田 晃久

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和5年4月18日（火）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育局では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育局の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数

(2) 質問紙調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・大阪市立啓発小学校では、第6学年39名

令和5年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

国語は年々全国平均との差を縮めてきていて、ついに今回全国平均を上回ることができた。算数は全国平均に届かなかったが、その差はR4よりも縮めることができた。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

国語・算数ともに無解答率が高い。間違ってもいい、誤答やずれた答えを発しても全面否定をしない・されない空気を学校（教室）でつくっていかねばならない。

〔国語〕

「話すこと・聞くこと」の設問の正答率は、全国平均を上回ることができた。新しい時代に必要な資質・能力の育成のために言語力の向上をめざした基礎・基本の定着に、学校全体で取り組んできた成果だと考える。また、「情報の扱い方に関する事項」の設問の正答率も、全国平均を上回ることができた。これまでICTを活用した国語の授業開発および授業実践に取り組んできた成果だと考える。今後も引き続き、授業内容を工夫・改善することによる「主体的・対話的で深い学び」の実現、ならびに、デジタル新聞の活用による読解力と学びに向かう力の育成を進めていく。

〔算数〕

「数と計算」「図形」の領域において、全国平均との差を縮めることができた。また、「変化と関係」の領域においては、全国平均を上回ることができた。習熟度別少人数指導やチーム・ティーチングなどによる授業形態の工夫、複数教員によるきめ細やかな指導に粘り強く取り組んできた成果だと考える。一方、「データの活用」の領域において、全国平均と大きな差がある。今年度「情報能力を生かし自ら課題解決に取り組む児童の育成」を研究主題に設定し、子どもが見通しをもって参加できる授業づくりを、学校全体で取り組んでいく。

質問紙調査より

「算数の勉強は好きですか」の質問に対する肯定的回答率は高くなったが、国語は大幅に下がった。タブレットPCや大型モニターなどのICT機器を日常的に活用しながら、さらなる授業展開の工夫が必要である。「将来の夢や目標を持っていますか」の質問に対して肯定的に回答した児童の割合も低くなっている。キャリアパスポートを活用した「生き方教育」など児童に自己肯定感を与える取組を実施していきたい。

また、朝食をきちんと取る習慣、決まった時刻の就寝、計画的な家庭学習など基本的な生活習慣が定着していない。今後も、状況の改善に向けて家庭との連携を図りながら、児童が自立するための手立てを工夫していきたい。

今後の取組(アクションプラン)

授業に対する肯定的回答率も低く、「学校に行くのは楽しいと思いますか」の質問に対しての肯定的な回答率も低下している。学習活動や指導法のさらなる工夫に取り組んでいきたい。

- ・ICT機器の利活用による、思考力の育成・向上、協働的な学びのある授業の工夫
- ・習熟度別少人数指導やチーム・ティーチングなど学習形態を工夫するなかでの基礎・基本の定着

- ・小中一貫校の特性を生かした、小中連携による専門性の高い授業の工夫
- ・反復練習や発展学習に自ら取り組める、1人1台学習者用端末の活用の工夫
- ・読解力の育成に向けた、読書活動のさらなる充実

また、「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」に肯定的に回答した児童が半数以下だった。学びコラボレーターや学びサポーターと連携した放課後学習、家庭学習力アンケートの活用など、家庭で自学自習できる児童の育成を進めたい。

【 全体の概要 】

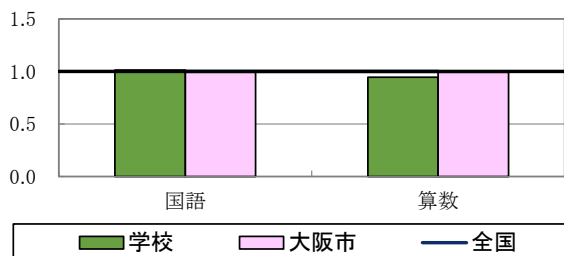
平均正答率（％）

	国語	算数
学校	68	59
大阪市	67	62
全国	67.2	62.5

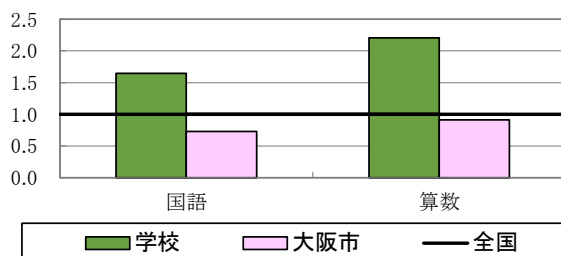
平均無解答率（％）

	国語	算数
学校	7.9	7.5
大阪市	3.5	3.1
全国	4.8	3.4

平均正答率(対全国比)



平均無解答率(対全国比)



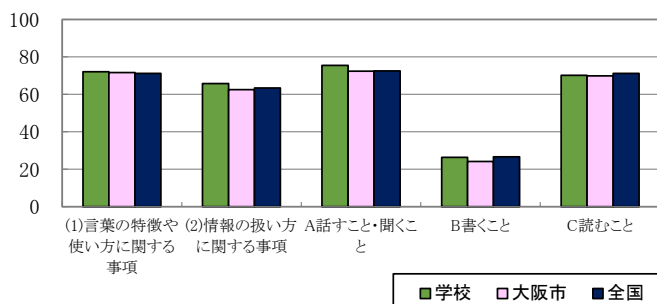
【 国 語 】

学習指導要領 の内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い 方に関する事項	5	72.1	71.7	71.2
(2)情報の扱い方 に関する事項	2	65.8	62.6	63.4
(3)我が国の言語文 化に関する事項	0			
A 話すこと・聞くこと	3	75.4	72.4	72.6
B 書くこと	1	26.3	24.2	26.7
C 読むこと	3	70.2	69.9	71.2

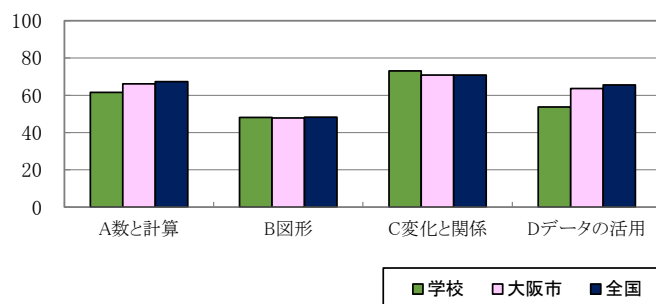
【 算 数 】

学習指導要領 の領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	6	61.5	66.1	67.3
B 図形	4	48.1	47.8	48.2
C 測定	0			
C 変化と関係	4	73.1	70.8	70.9
D データの活用	3	53.8	63.6	65.5

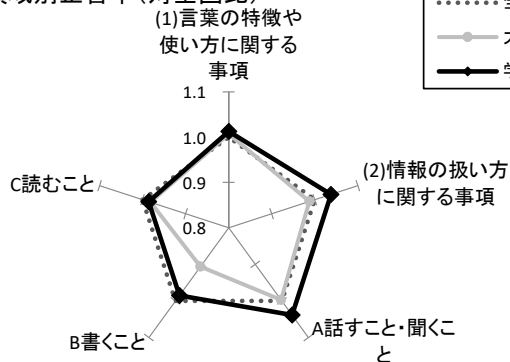
国語 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



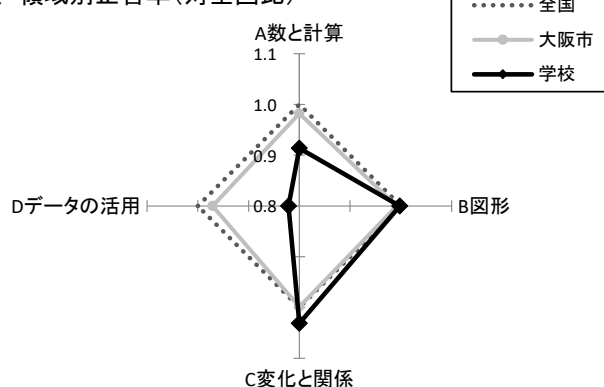
算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



国語 領域別正答率(対全国比)



算数 領域別正答率(対全国比)



児童質問紙より

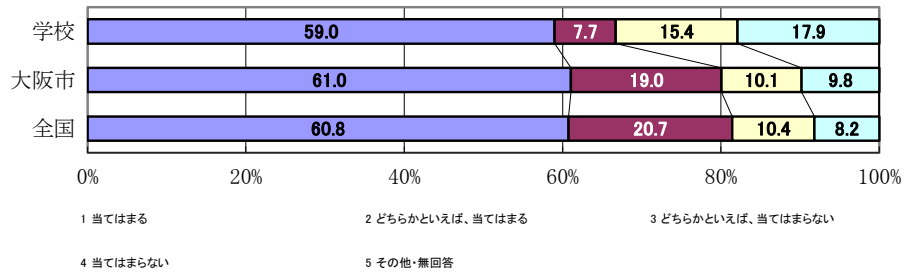
質問番号

質問事項

7

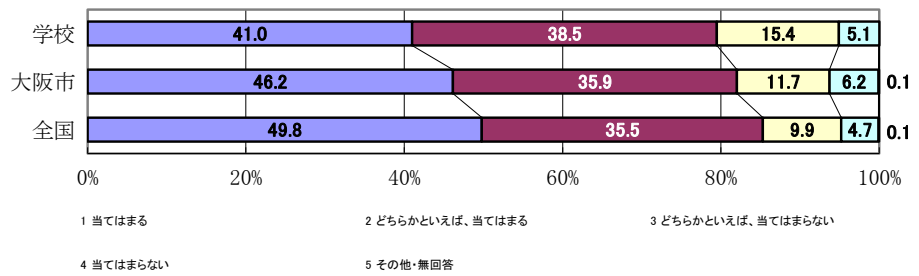
将来の夢や目標を持っている

1 2 3 4 5 6 7 8



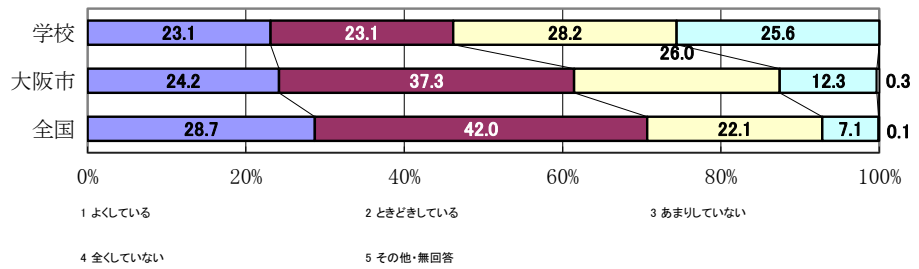
12

学校に行くのは楽しいと思う



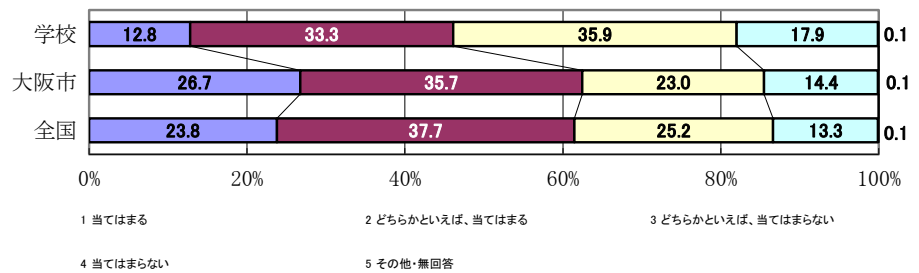
16

家で自分で計画を立てて勉強をしていますか(学校の授業の予習や復習を含みます)



43

国語の勉強は好きだ



51

算数の勉強は好きだ

